

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。



No24 The company in Shirakawa

(株)ニッタ冷熱工業 白河工場

住所：東蕪内字駒橋4-1
事業内容：熱交換器の設計・製造、パイプ加工、冷凍サイクル組み立て、板金加工

冷・熱両極端の技術を駆使し 熱交換器の可能性を追求する



- ① コンビニエンスストアで使用されているドリンク棚のユニットクーラー。
- ② 工場外観。現在、敷地内に新たな作業場を増設中です。
- ③ 社員の皆さん。若い方が多く、常にチャレンジすることを心掛けています。
- ④ 工場内は、様々な機械が並んでいます。
- ⑤ 溶接作業の様子。工場内のちりや水分等に細心の注意を払っています。
- ⑥ 「蓄積したノウハウを基に、新しい技術に挑戦していきたい」と話す曾根さん。

「私たちの会社は、コンビニエンスストアで使用されているドリンク棚のクーラーや業務用のエコキュート、冷蔵車の庫内冷蔵、食品工場用の急速冷凍などに使用される熱交換器を製造しています」と話す工場長補佐・営業の曾根健さん。

ニッタ冷熱工業は、グループ会社である(株)岩崎工業(群馬県伊勢崎市)とともに熱交換器を製造する会社として、平成21年に工場を稼働しました。

主に業務用の熱交換器を、顧客の要望に合わせ設計から納品まで一貫生産しています。トラブルが発生しても納期内の納入を心掛けていて、震災の際も遅れることなく納め、取引先を驚かせました。顧客との信頼関係を第一に考え、仕事に対する責任感を強く持っています。

敷地面積は、16,233㎡。社員は38人。社員の技術向上を図るため、一人ひとり丁寧に指導しているほか、外部団体で開催する講座に参加させるなど、社員教育に力を注いでいます。

「使用する方に配慮した、エコにつながる製品や手入れしやすい製品の開発、そしてあらゆる業種の冷・熱管理にチャレンジしていきたいです。そして、社員の幸せを考えながら、息の長い事業経営を行い地域貢献できる会社を目指します」と曾根さんはさわやかな笑顔で話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

2月15日から3月13日までの義援金・寄附金の提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

3月14日以降の義援金・寄附金は、広報白河お知らせ版(4月15日号)でお伝えします。

- 白河第二中学校昭和44年度卒業生 様
- カワチ薬品白河店前かどの市場 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(2月22日～3月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 天理教 北多摩西部支部 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、ソメイヨシノが咲き誇る南湖公園と、ふくしまDCキャンペーンの県南地域統一キャッチフレーズ「迷わず、しらかわ。」の紹介です。

有名な観光キャッチフレーズには、京都府の「さあ、京都へ行こう」、会津若松市の「極上の会津」などがあり、今回のキャッチフレーズは「しらかわ」というブランドを定着させるための1つの手段です。これからは「迷わず、しらかわ。」を合言葉に、キャンペーンの風に乗って地域の魅力をより強く発信していきます。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ

<https://www.facebook.com/city.shirakawa>